

『粗物上戸や 胴頑丈さん』アラムンジョウグウヤ ドウガンジュウサン/質素な食事が健康な体をつくる、という沖縄の黄金言葉です。やせ地で採れた作物からさまざまな工夫をして培われてきた先人たちの知恵が今、崩れようとしています。田仲先生の「沖縄クライシス」は、まさに意を尽くすものでした。この言葉にこそクライシスから復活のヒントがあると思います。9月18日は『シマクトウバの日』。もう一度、沖縄の先人の知恵・言葉に耳を傾けてみませんか？

「県医師会の主張」コーナーでは、大山朝賢常任理事より、県立高等学校の課外授業への協力について報告があり、中部農林高等学校が自主開発したパブリカ・アイスについての評価依頼、読谷高等学校からはアルコール・タバコ・薬物等についての講演依頼があり、それらには那覇市医師会生活習慣病健診センター副所長 崎原永辰先生、中部保健所長 崎山八郎先生、空と海のクリニック 玉城清酬先生にご協力頂きました。

「報告」コーナーでは、宮城信雄会長から九州医師会常任委員会の報告、玉城信光副会長から福祉保健部・県医師会連絡会の報告、安里哲好常任理事から都道府県医師会健診・保健指導担当理事連絡協議会の報告がありました。嶺井進常任理事には税制担当理事連絡協議会の報告とその印象記を投稿して頂きました。野原薫理事にも学校保健担当理事者会の報告と印象記を投稿頂きました。真栄田篤彦常任理事からは男女共同参画フォーラムの報告がありました。

「懇談会」コーナーでは、第1回マスコミとの懇談会については玉井修理事からの報告です。医療事故、報道のあり方、事故の原因となる医療状況などについて懇談が行われたようです。

「月間・週間行事のお知らせ」コーナーでは、金谷文則先生から「運動器の10年・骨と関節の日」についての解説と県内整形外科医会の活動の紹介、石川真先生から「目の愛護デー」についての解説と近年多く見られる眼疾患の解説、宮田裕史先生には「麻酔の日」につい

て述べて頂きました。移植医療に関連して新垣義孝先生に「臓器移植推進月間」について、百名伸之先生には「骨髄バンク推進月間」についてご紹介頂きました。高須信行先生には「糖尿病週間」について説明頂き、今後の取り組みについてまとめて頂きました。

「生涯教育」コーナーには、田仲秀明先生から「沖縄クライシス」についての論文を投稿頂き、「プライマリ・ケア」コーナーで、外間力人先生に中高年のメタボリックシンドロームの治療に欠かせない運動療法・スポーツについての問題点・注意点などをまとめて頂きました。この2つの論文はクライシスからの「復活」をめざす県民の先頭に立たなくてはならない我々会員にとって貴重な文献であると思います。

「インタビュー」コーナーで、野原薫理事に沖縄県福祉保健部健康増進課 譜久山民子課長に健康増進課の活動、予防接種に関する法律改正、健康長寿県復活などについてインタビューしていただきました。

「分科会・研究会等からの報告」コーナーでは、久田友治先生から日本手術医学会教育セミナー開催の報告がありました。

「発言席」コーナーでは、浜端宏英先生が身近に起きた医師逮捕の2事例について述べられています。福島県の産婦人科医逮捕から思い出されたとのことで、この事件はいろいろな方面で暗い影を落しており、今後の医療環境・報道環境の厳しさを示唆しているようです。

「若手」コーナーでは、大屋裕輔先生からエビデンスを基に診療を行う若手医師に、そのエビデンスを作り出す研究について、一度は大学などにて学ぶことも必要ではないかとの提案がありました。

「リレー随筆」コーナーに野原正史先生、「随筆」コーナーに勝連啓介先生から御投稿いただきました。

本号は大変読み応えのあるものでした。今後も諸先生方には医師会報のより一層の充実のため、ご協力を御願い申し上げますとともに、今回、ご執筆いただいた先生方には心から深謝いたします。

広報委員 比嘉 靖